

議案第20号

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅰ期）の策定について

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅰ期）の策定について、多可町議会基本条例（平成24年条例第23号）第10条第1項第9号の規定により、議決を求める。

平成30年3月1日提出

多可町長 吉 田 一 四

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅰ期）
2018年度～2025年度

（案）

2018年3月

多可町

目 次

第1章 はじめに.....	1
1. 計画策定の目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	2
3. 計画期間.....	2
4. 対象施設と検討団体.....	3
5. 目標値（延床面積の削減見込量）.....	3
6. 検討の流れ.....	7
第2章 多可町の現状.....	9
1. 人口動向.....	9
2. 財政の状況.....	10
3. 公共施設の状況.....	11
第3章 評価方法及び評価結果.....	13
1. 普通財産等.....	13
2. それ以外の施設.....	18
2-1. 評価方法.....	18
(1) 第1段階評価.....	18
(2) 第2段階評価.....	28
2-2. 最終評価結果.....	32
第4章 有効活用について.....	36
第5章 フォローアップの実施方針.....	38
参考資料.....	39

第1章 はじめに

1. 計画策定の目的

本町では、昭和50年代から昭和60年代にかけて人口が増加し、これに合わせて公共施設も整備してきましたが、築30年を経過する施設が全体の半分以上を占めており、大規模改修や建替え等の更新時期を迎えようとしています。

一方で、人口減少・少子高齢化の進行における税収の減少、社会保障費の増加等の厳しさを増す財政状況の中、公共施設の維持管理や更新費用は、今後の町の財政にとって非常に大きな負担となることが予測されます。

このような中、平成28年3月に策定した「多可町公共施設等総合管理計画」では、公共建築物について、「総延床面積を30年間で4割削減」することを目標としています。

そこで、この目標を実現させるために、各施設の方向性を示す「多可町公共施設等再配置計画」を策定しました。

今後は、この計画に基づき、個別の公共施設の見直しに取り組んでいきます。

2. 計画の位置づけ

公共施設等再配置計画は、総合管理計画の下位計画として位置付け、総合管理計画に示している対象施設のうち、公共施設（公共建築物）について、具体的な方針を示しています。

本計画では、施設の担当部署等を踏まえ、「①学校園、学童施設」、「②公営住宅」、「③供給施設（インフラ系）」、「④庁舎（役場、プラザ）」、「⑤普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借）」、「⑥それ以外の施設」に区分けし、別々に検討したものを取りまとめた計画としております。

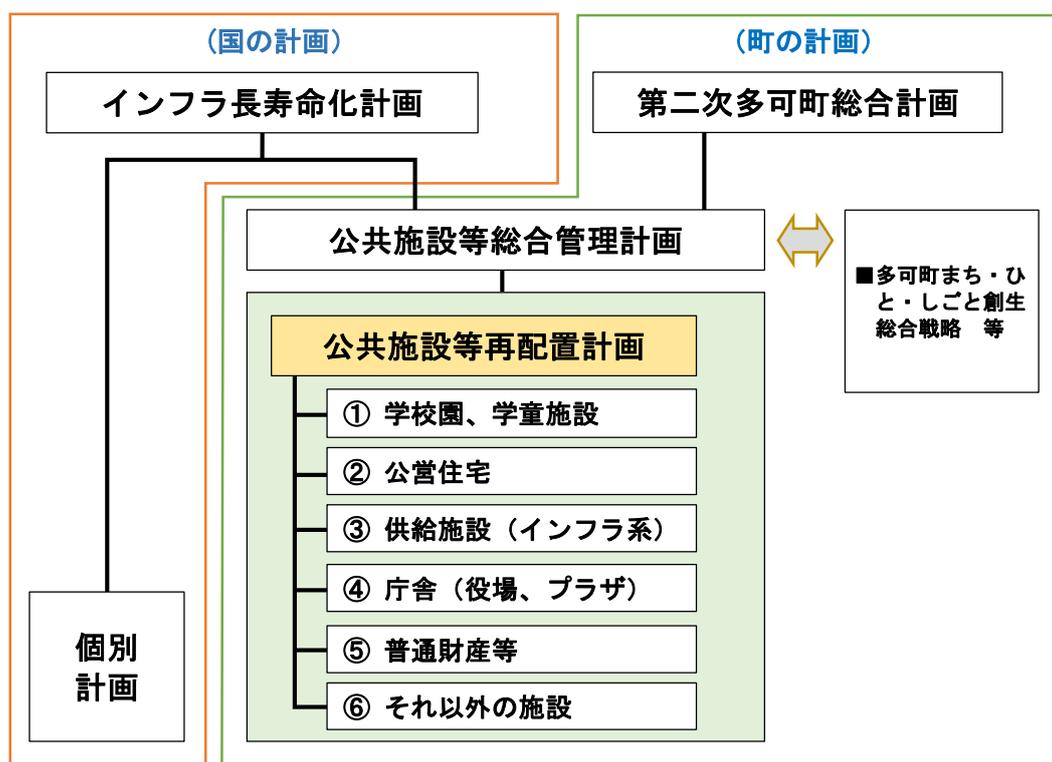


図 公共施設等再配置計画の位置付け

3. 計画期間

本計画の対象期間は、2016年度（平成28年度）から2045年度（平成57年度）までの30年間とし、そのうち当初の10年間（2016年度から2025年度）を第Ⅰ期としています。

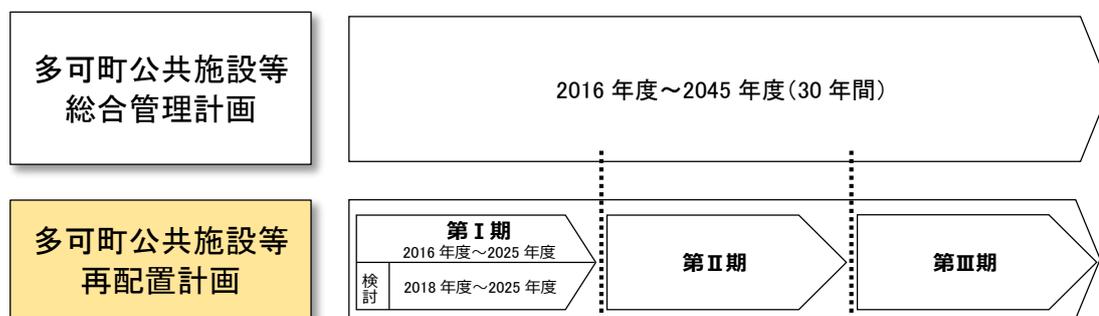


図 計画期間

4. 対象施設と検討団体

対象施設は、次のとおり区分けし、各団体で検討しています。

なお、「学校園、学童施設」、「公営住宅」、「供給施設（インフラ系）」、「庁舎（役場、プラザ）」、「普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借）」は、別途の計画等で検討しております。

表 対象施設と検討団体

対象施設	検討団体名	計画名
①学校園、学童施設	・多可町子ども・子育て会議 ・多可町教育委員会	・多可町子ども・子育て支援事業計画 ・多可町教育大綱(多可町教育ビジョン(後期) －多可町教育振興基本計画－)
②公営住宅	・第2次多可町住宅マスター プラン策定委員会	・第2次多可町住宅マスタープラン
③供給施設(インフラ系)	・多可町上下水道課	・多可町水道事業経営戦略 ・多可町公共下水道事業計画 ・多可町下水道事業経営戦略
④庁舎(役場、プラザ)	・町方針で決定	—
⑤普通財産等(普通財産、 倉庫、一時利用、行政財 産(使用貸借・賃貸借))	・多可町行政改革推進本部	本計画の P.13 ～ P.17
⑥それ以外の施設	・多可町公共施設等再配置 計画策定委員会	本計画の P.18 ～ P.35

5. 目標値（延床面積の削減見込量）

対象施設の延床面積の削減見込量は以下のとおり検討しました。検討の結果、第Ⅰ期（2016年度～2025年度）において、約16%の延床面積を削減することを見込んでいます。

なお、「⑤普通財産等」、「⑥それ以外の施設」の削減見込量は、本計画の第3章に示している評価結果より算出しています。

表 対象施設の延床面積の削減見込量

対象施設	施設数	対象施設の総延床面積 (2018年2月現在)		第Ⅰ期(2016年～2025年) 削減見込量	
		面積	割合	面積	割合
①学校園、学童施設	13	47,583.40 m ²	31.4%	-3,748.60 m ²	-2.5%
②公営住宅	395	26,952.36 m ²	17.8%	-4,657.20 m ²	-3.1%
③供給施設(インフラ系)	30	10,142.00 m ²	6.7%	-1,253.00 m ²	-0.8%
④庁舎(役場、プラザ)	3	7,705.60 m ²	5.1%	1,957.40 m ²	1.3%
⑤普通財産等(普通財産、 倉庫、一時利用、行政財 産(使用貸借・賃貸借))	31	17,279.74 m ²	11.4%	-14,154.74 m ²	-9.3%
⑥それ以外の施設	62	41,868.37 m ²	27.6%	-1,971.00 m ²	-1.3%
計	534	151,531.47 m ²	100.0%	-23,827.14 m ²	-15.8%

※「削減」とは対象施設の延床面積を削減することであり、公共サービスの量が削減されることはありません。

■対象施設一覧（それ以外の施設）

No	小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	施設所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)
1	中町北小	市民文化系 施設	1	隣保館「ふれあいセンター」	中区天田 340-1	276.0	1969
2	中町北小	市民文化系 施設	5	教育集会所	中区東山 200-3	235.0	1980
3	中町北小	社会教育系 施設	10	鍛冶屋線記念館	中区鍛冶屋 163-1	90.0	1993
4	中町北小	社会教育系 施設	11	ビクターセンター「那珂ふれあい館」	中区東山 539-3	1,170.0	2004
5	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	14	中央公園プール	中区岸上 224-19	215.0	1978
6	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	15	北アリーナ	中区岸上 281-22	942.0	1975
7	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	中区牧野 817-41	1,146.0	1992
8	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」 (まちの駅・たか)	中区岸上 281-1	184.5	2012
9	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	65.2	健康福祉センター「アスパルアリーナ」	中区岸上 281-51	1,147.0	1999
10	中町北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	125	余暇村公園 管理事務所	中区牧野 817-41	544.3	1985
11	中町北小	保健・福祉施 設	65.1	健康福祉センター「アスパル健康福祉棟」	中区岸上 281-51	2,782.9	1999
12	中町北小	保健・福祉施 設	66	中老人福祉センター「おもいで荘」	中区鍛冶屋 850-69	525.0	1967
13	中町南小	市民文化系 施設	3	中央公民館	中区茂利 20	1,453.0	1973
14	中町南小	市民文化系 施設	4	文化会館「ベルディーホール」	中区中村町 135	2,994.0	1990
15	中町南小	社会教育系 施設	2.1	図書館	中区靴屋 434-11	634.0	1979
16	中町南小	産業系施設	42	農村環境改善センター「グリーンプラザ」	中区曾我井 613-1	599.0	1998
17	中町南小	産業系施設	43	農村婦人の家	中区中安田 509-2	266.0	1982
18	中町南小	子育て支援 施設	59	中児童館	中区高岸 425-6	256.0	1982
19	中町南小	保健・福祉施 設	67	中在宅心身障害者小規模通所施設 「開拓松葉園」	中区奥中 970-8	132.0	1978
20	中町南小	行政系施設	79	防災センター	中区高岸 398	292.0	2001
21	杉原谷小	市民文化系 施設	8	北公民館	加美区丹治 500	271.0	1969
22	杉原谷小	社会教育系 施設	12	杉原紙研究所	加美区鳥羽 768-46	481.0	1996
23	杉原谷小	社会教育系 施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	加美区鳥羽 768-46	139.0	1999

No	小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	施設所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)
24	杉原谷小	社会教育系 施設	160	紙匠庵でんでん	加美区鳥羽 768-46	59.0	2002
25	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	20	北部体育館	加美区清水 783-1	584.0	1987
26	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	23	鳥羽キャンプ場	加美区鳥羽 747-2	114.0	1999
27	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	24	ラベンダー園活性化施設	加美区轟 799-127	311.0	2008
28	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	25	農林業公園「ハーモニーパーク」	加美区三谷 663-1	651.9	1994
29	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	加美区鳥羽 733-1	534.0	1996
30	杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	29	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	加美区鳥羽 768-46	122.0	2015
31	杉原谷小	産業系施設	44	ラベンダー園育苗販売加工施設	加美区轟 799-127	385.1	2008
32	杉原谷小	保健・福祉施 設	68	かみ総合福祉センター	加美区市原 41	1,047.0	2003
33	杉原谷小	保健・福祉施 設	70	加美老人福祉センター「春蘭荘」	加美区丹治 551-1	1,243.0	1991
34	杉原谷小	保健・福祉施 設	71	加美小規模作業所兼ふれあいセンター 「みどりの家」	加美区市原 40-1	298.0	2003
35	杉原谷小	保健・福祉施 設	72	認知症高齢者グループホーム「やすらぎの郷」	加美区市原 40-1	365.8	2003
36	杉原谷小	医療施設	75	杉原谷診療所	加美区市原 44	368.8	1990
37	松井小	市民文化系 施設	7	交流会館	加美区寺内 251	612.0	1999
38	松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	18	加美体育館	加美区豊部 249	991.0	1974
39	松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	19	温水プール「サンスイム・カミ」	加美区豊部 1840-55	1,494.0	1991
40	松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	26	青年の家「エコミール加美」	加美区豊部 1840-53	1,762.0	1986
41	松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	27	林業者休養施設「悠遊館」	加美区豊部 1840-53	370.0	1986
42	松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	30	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	加美区岩座神 251-1	1,015.9	2002
43	松井小	子育て支援 施設	61	みなみ児童館	加美区的場 68-1	280.0	2004
44	松井小	医療施設	76	松井庄診療所	加美区寺内 251	625.0	1998
45	松井小	行政系施設	80	たかテレビ局	加美区豊部 1874	433.8	1997
46	松井小	その他	161	かみの朝市南直売所	加美区的場 145-6	97.0	2001
47	松井小	その他	167	松井庄診療所官舎	加美区寺内 122-1	169.0	1989

No	小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	施設所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)
48	旧八千代 北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	37	笠形山自然公園センター 「ネイチャーパークかさがた」	八千代区大屋 378-1	1,121.1	2002
49	旧八千代 北小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	38	滞在型市民農園「ブライベンオオヤ」	八千代区大屋 359	679.0	2002
50	旧八千代 北小	保健・福祉施 設	77.2	国民健康保険八千代診療所 「モルゲンハイト八千代」	八千代区下村 109-1	133.5	2003
51	旧八千代 北小	医療施設	77.1	国民健康保険八千代診療所「八千代診療所」	八千代区下村 109-1	919.5	2003
52	旧八千代 北小	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	八千代区横屋 94	59.0	2004
53	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	31	八千代体育館	八千代区中野間 363 -13	918.0	1987
54	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	32	ガルテン八千代管理棟	八千代区中野間 363 -13	186.0	1980
55	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	33	八千代B&G海洋センター(プール)	八千代区中野間 363 -13	200.0	1988
56	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	34	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	八千代区中野間 363 -13	1,527.0	1990
57	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	35	交流促進センター(催事館)「リーベリエン」	八千代区中野間 363 -13	612.0	1995
58	旧八千代 南小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	36	農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」	八千代区中野間 363 -14	1,068.0	1997
59	旧八千代 南小	子育て支援 施設	178	子育てふれあいセンター	八千代区仕出原 353	470.7	2000
60	旧八千代 南小	保健・福祉施 設	73	高齢者障害者等活動及び生活支援促進施設 「ささゆりふれあいセンター」	八千代区中野間 131	780.0	2002
61	旧八千代 西小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	39	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	八千代区大和 1520- 1	1,148.0	2003
62	旧八千代 西小	スポーツ・レクリエ ーション系施設	40	滞在型市民農園「ブルーメンやまと」	八千代区大和 1483	1,338.6	2004

6. 検討の流れ

①学校園、学童保育施設

中学校については、今後、地域の学校教育のあり方を考える会を立ち上げて検討していきます。その他の施設については、中学校等の統合状況をみて、教育委員会で別途検討していきます。

②公営住宅

平成 29 年 3 月に策定の第 2 次多可町住宅マスタープラン（平成 29 年度～平成 38 年度）で検討済みです。

③供給施設（インフラ系）

平成 28 年 3 月に策定の多可町水道事業経営戦略（平成 29 年度～平成 43 年度）、多可町下水道事業経営戦略（平成 29 年度～平成 43 年度）で検討済みです。

④庁舎（役場、両プラザ）

今後も維持していくことが決定されている施設となります。

⑤普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借））

現在、何らかの形で活用がある施設については、これまで以上に自由で活発な利活用を目指すため、活用団体への譲渡を積極的に推進していきます。

⑥それ以外の施設

対象施設について、第 1 段階評価と第 2 段階評価を実施しました。

第 1 段階評価については、各施設を公共性、有効性、効率性、安全性等、多様な視点で評価し、A～E までの 5 段階にランク付けを行いました。

第 2 段階評価では、D と E ランクとなった施設の必要性について検討を行い、「現状維持」「（譲渡等の検討の結果）現状維持するが修繕しない」「（譲渡等の検討の結果）廃止、取り壊し」の評価結果を出しました。

次頁に「それ以外の施設」の検討の流れの図を示します。

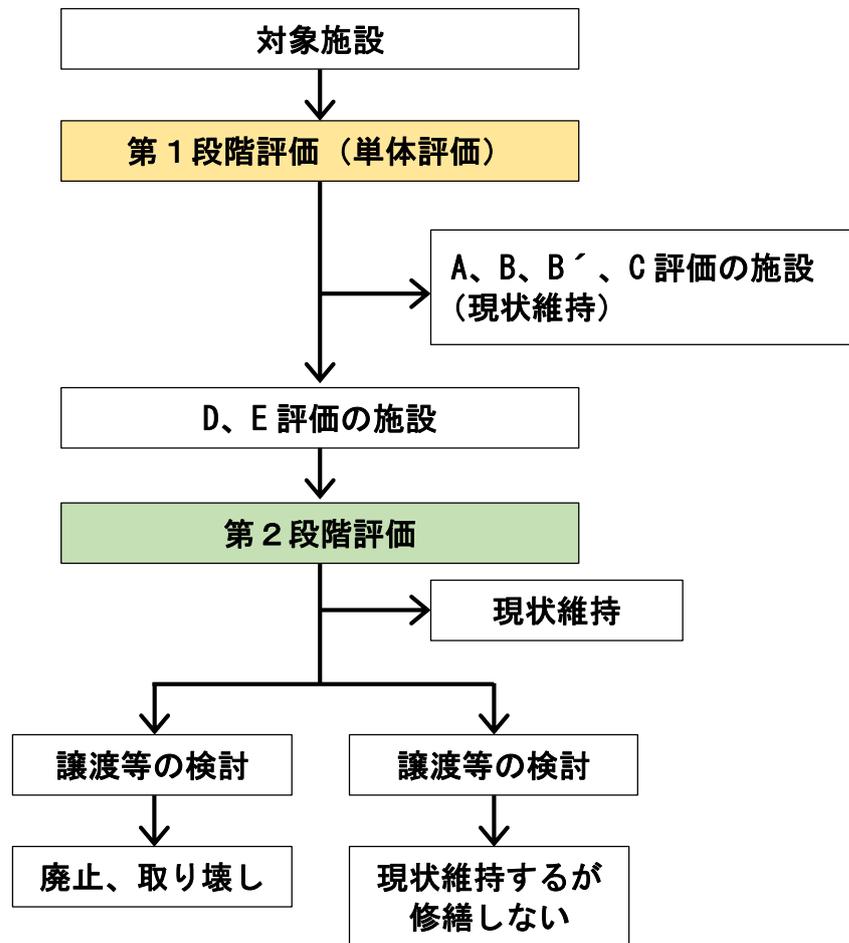


図 「それ以外の施設」の検討の流れ

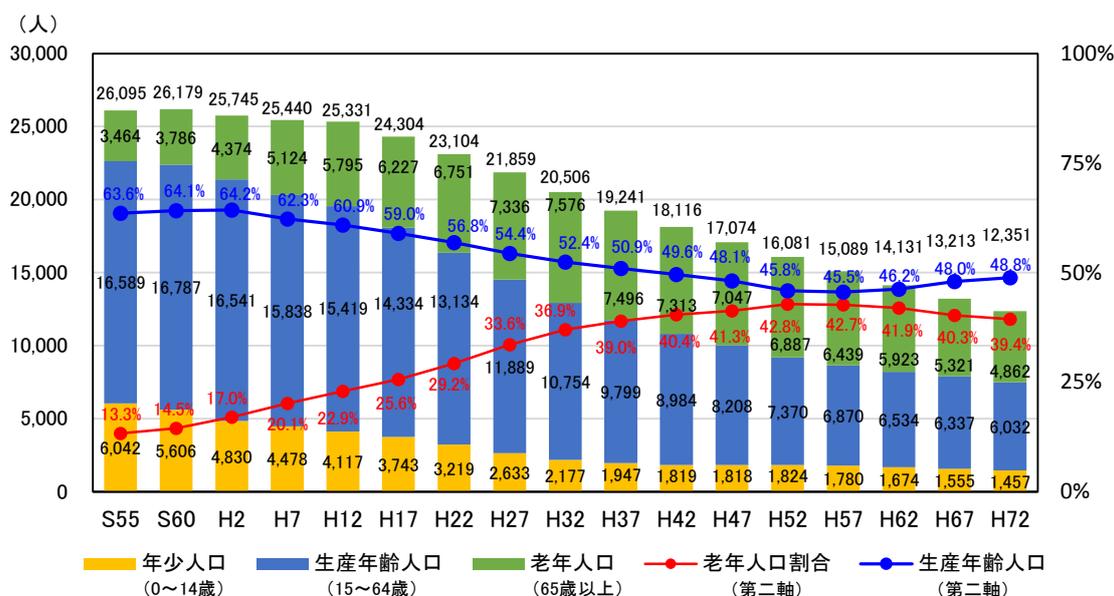
第2章 多可町の現状

1. 人口動向

近年の多可町の総人口は、昭和60年の26,179人をピークに減少しています。平成17年には2万5千人を割り、平成27年には21,859人となっています。

今後も減少傾向は続き、「多可町人口ビジョン・総合戦略（H27.10策定）」においては、近年の社会動態（転出・転入）及び自然動態（出生・死亡）の構造が続くと仮定した現状趨勢（すうせい）ケースで平成72年に人口が9,672人まで減少するとなっているが、無理のない人口対策（転出抑制、転入促進、出生率回復等）を着実に実施した人口対策ケースを採用し、平成72年には12,351人になると設定されています。

また、生産年齢人口の割合については、昭和60年は64.1%、平成27年には54.4%でしたが、平成57年には45.5%になると予想されています。



人口の推移

出典：昭和55年～平成22年；国勢調査

平成27年～平成72年；多可町人口ビジョン（人口対策ケース）

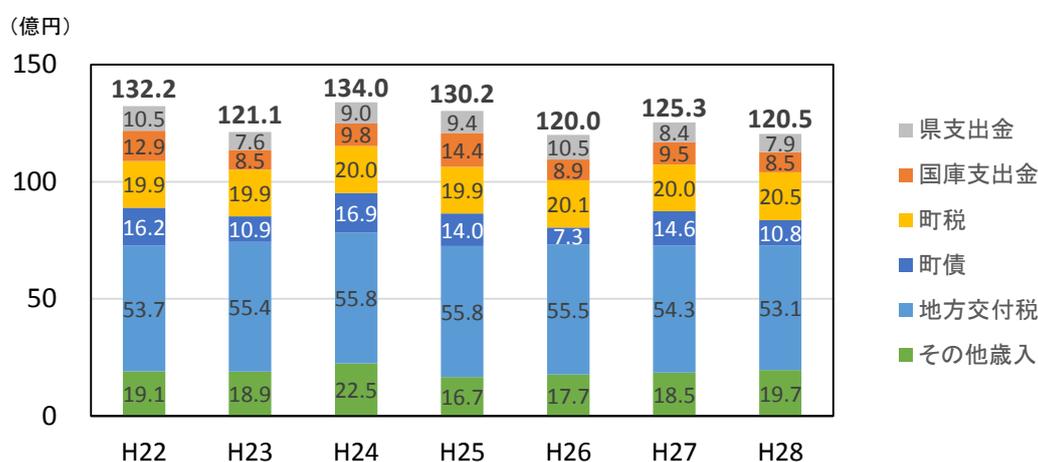
2. 財政の状況

多可町の歳入は平成 28 年度で 120.5 億円であり、そのうち町税は 20.5 億円で全体の 17.0% となっています。

歳出は平成 28 年度で 118.3 億円であり、そのうち扶助費は 11.7 億円と全体の 9.9% でありませんが、今後、高齢化社会の進行に伴い増加するものと想定されます。また、公共施設等の整備の財源となる投資的経費は 12.7 億円（全体の 10.7%）、維持補修費は 0.6 億円（全体の 0.5%）となっています。

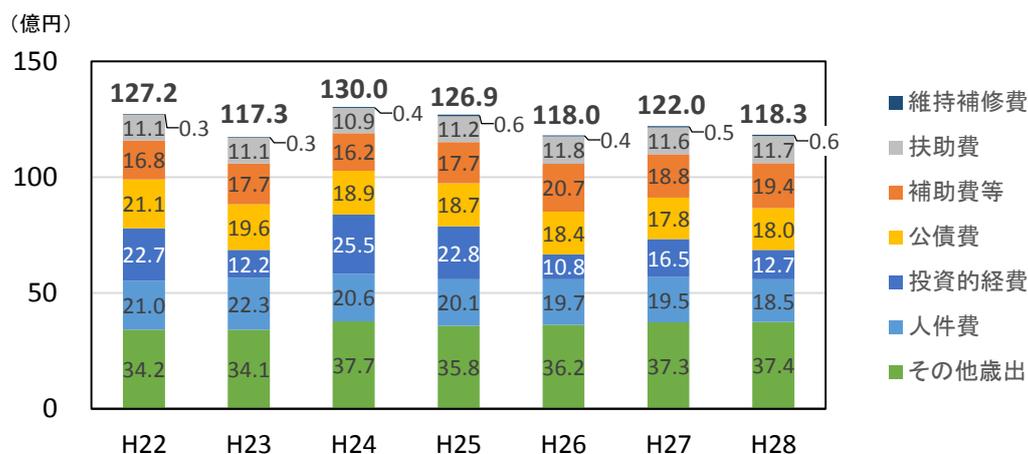
今後は、扶助費等の増加に伴い、町の財政状況は厳しさを増すことが想定されることから、投資的経費に当てられる財源の確保が難しくなると考えられます。

また、町の歳入を見ると、地方交付税の割合が高い状況が続いていることから、国の施策に影響するところが大きい状況となっています。



歳入決算額の推移

出典：普通会計（多可町資料）



歳出決算額の推移

出典：普通会計（多可町資料）

※扶助費：社会保障制度の一環として生活困窮者、高齢者、児童、障がい者等に対して行う支援に要する経費。

※投資的経費：公共施設、道路、上下水道等の建設や用地購入等、社会資本の形成に資する経費

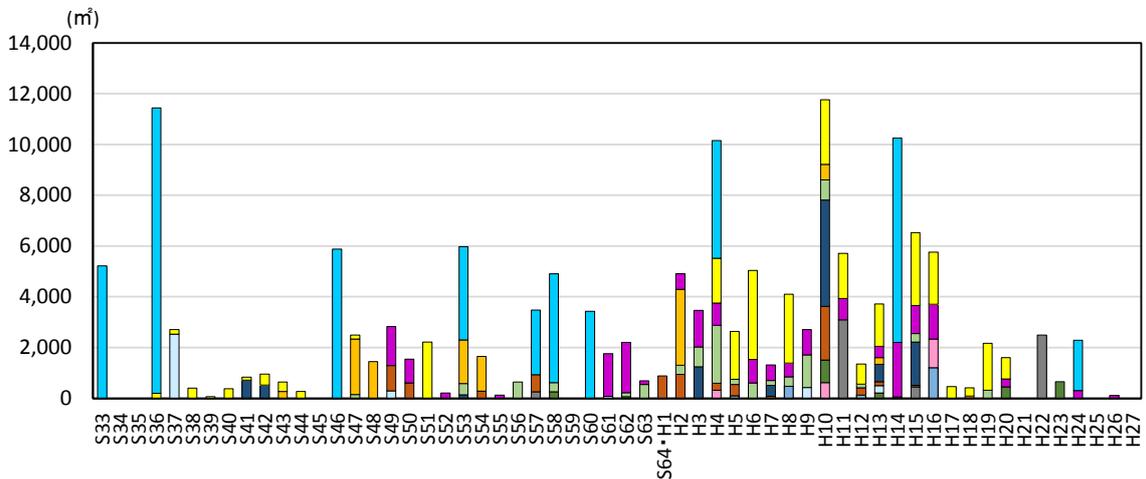
3. 公共施設の状況

1) 整備状況

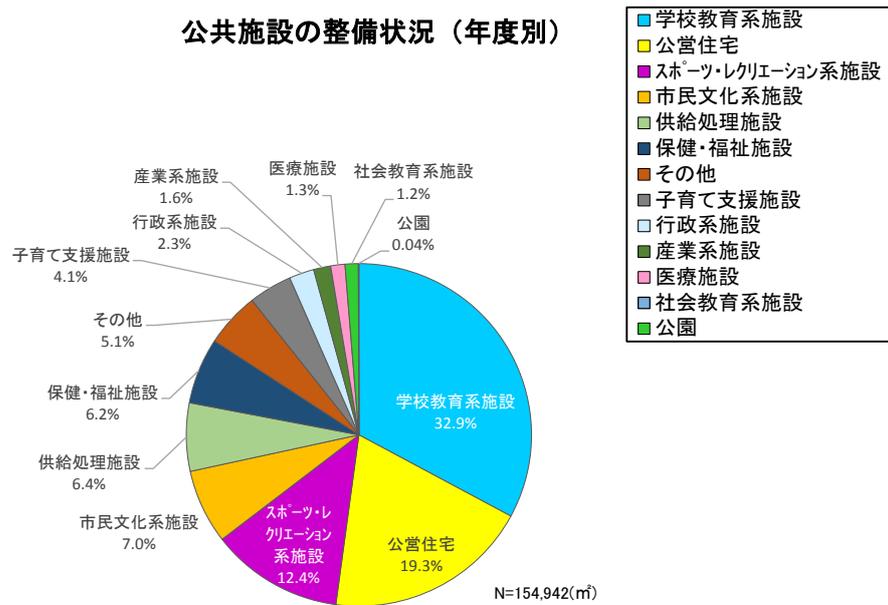
対象施設は、176 施設、総延床面積 154,942m²であり、2015 年（平成 27 年）10 月 1 日現在の多可町の人口 22,064 人に対して、町民一人当たり 7.0m²の延床面積となっています。

年度別の整備状況を見ると、1998 年（平成 10 年）が最も多く整備され、次いで 1961 年（昭和 36 年）、2002 年（平成 14 年）、1992 年（平成 4 年）となっています。

また、施設分類別の整備状況では、学校教育系施設が 32.9%で最も多く、次いで、公営住宅 19.3%、スポーツ・レクリエーション系施設 12.4%、市民文化系施設 7.0%となっています。



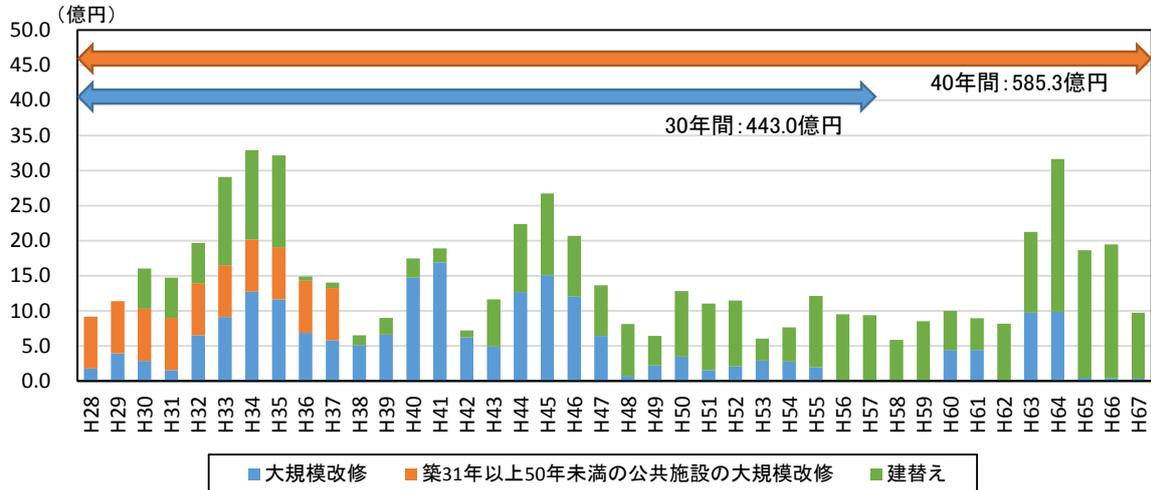
公共施設の整備状況（年度別）



公共施設の整備状況（施設分類別）

2) 改修・更新費用の見通し

対象施設について、今後、必要と想定される改修・更新費を総務省提供ソフトを活用し算出した結果、今後30年間（2016年[平成28年]～2045年[平成57年]）、このまま公共建築物を全て保有し続けた場合の必要コストは443.0億円（当初の40年間では、585.3億円）、年平均14.8億円となります。



将来の更新費用の推計（公共建築物）

※総務省提供ソフトは、財団法人 地域総合整備財団が作成。

算出根拠については公共施設更新費用算出ソフト仕様書を参照。

◆算出の手法

- 現在の公共施設等をそれぞれ耐用年数の経過後に同じ面積・延長等で更新すると仮定。
- 公共建築物の延床面積の数量データに更新単価を乗じることにより将来の更新費用を推計。

◆更新の考え方

- ・建替え：60年（建替え期間3年）
- ・大規模改修：30年（修繕期間2年）

※公共建築物の建物の建替え年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」から標準的な耐用年数として60年を採用。鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造別の耐用年数は採用していない。

※大規模改修の年数は、建物附属設備（電気設備、昇降機設備等）及び配管の耐用年数が概ね15年であることから2回目の改修である建設後30年で建築物の大規模改修を行い、その後30年で建て替えると仮定する。

◆更新単価の設定の考え方

- ・既に更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価等を基に用途別に4段階の単価を設定する。この単位は、落札価格ではなく、予定価格又は設計価格を想定して設定している。なお、大規模改修の単価は、通常建替えの5～6割であるが、本試算では6割と想定し、この想定単価を設定する。

【更新（建替え）及び大規模改修の単価】

	更新（建替え）	大規模改修
市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40万円/㎡	25万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系等施設	36万円/㎡	20万円/㎡
学校教育系、子育て支援施設等	33万円/㎡	17万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡	17万円/㎡

第3章 評価方法及び評価結果

第I期で検討する「⑤普通財産等」と「⑥それ以外の施設」について、評価方法と評価結果を示します。

1. 普通財産等

1-1. 評価方法

現在、何らかの形で活用がある施設については、行政改革推進本部及び庁内の担当課等で検討し、○（現状維持）、△（譲渡等検討・手放す方向で調整）、▲（現状維持するが修繕しない）、×（廃止・取り壊し）に分類しました。

1-2. 評価結果

検討した結果、○が9施設、△が10施設、▲が1施設、×が6施設、○△が1施設、△×が3施設、▲×が1施設となりました。

今後は、第I期として、△に分類した施設は、これまで以上に自由で活発な利活用を目指すため、活用団体への譲渡を積極的に推進していきます。また、×に分類した施設は、廃止・取り壊しの検討を進めます。

■検討結果

分 類	施設数
○（現状維持）	9 施設
△（譲渡等検討・手放す方向で調整）	10 施設
▲（現状維持するが修繕しない）	1 施設
×（廃止・取り壊し）	6 施設
○△（現状維持または譲渡等検討・手放す方向で調整）	1 施設
△×（譲渡等検討・手放す方向で調整または廃止・取り壊し）	3 施設
▲×（現状維持するが修繕しないまたは廃止・取り壊し）	1 施設
計	31 施設

■評価結果一覧

※最終結果 ○（現状維持） ▲（現状維持するが修繕しない）
 △（譲渡等検討、手放す方向で調整） ×（廃止、取り壊し）

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分 1	施設 区分 2	運営	取り組む方向性	結果
1	稲荷コミュニティセンター	2.2	中区靴屋 434-11	492.99	行政	公共用	使用 貸借	次の順に当たり、なければ廃止(取壊) ①法的な問題をクリアしたうえで(条例廃止のうえ使用貸借)、今後も現使用中の社会福祉協議会が使い続ける意向があるのであれば、現状を維持する。 ②図書館としての在り方を検討。 ③地元の稲荷郷集落の譲受意向を調査。	○△
2	八千代陶芸教室	9.2	八千代区中野間 603	48.00	普通			八千代区における陶芸教室としては、なごみの里山都を建設する際、同施設に新たな陶芸教室を設け住民活動の場を確保してきた経緯がある。よって、木造で大変古い八千代陶芸教室は廃止しても大きな問題はない。継続的に利用している実態が無ければ廃止。	×
3	サンスポーツランド加美	22	加美区豊部 1840-52	260.00	普通			現在、シルバー人材センターの事務所として賃貸借しているため、まずは、シルバー人材センターに譲受の意向があるか確認する。無ければ、NSI または相生学院に一体利用を打診し、希望が無ければ、森林組合に譲受の意向を確認する。(木材置場、作業場)意向が無ければ廃止。	△×
4	マイスター工房八千代(カルチャー部門)	41	八千代区中村 69-1 外	444.00	普通		使用 貸借	使用貸借先のマイスター工房八千代に譲受の意向を確認する。なければ、地元(大屋～門田)に意向確認し、新たな利活用について公募し、受手がなければ廃止。	△
5	屋内運動場B	172	加美区豊部 1922-11 外	179.00	行政	公共用	使用 貸借	条例廃止し、使用貸借している相生学院に譲受の意向を確認する。無ければ新たな利活用について公募する。	▲×
6	加美特産開発センター	45	加美区寺内 251	285.00	行政	公共用	使用 貸借	町としては今後も特産品開発自体は支援していく必要があることから、公共施設として不特定多数の利用が可能となるように軌道修正していく。 そのうえで、他の2区の特産品加工施設と同様、条例を廃止し、使用貸借しているかみ特産品クラブに譲受の意向を確認する。無ければ、新たな利活用について公募し、受手が無ければ廃止。	△
7	文化財保存施設兼小規模シカ肉処理加工施設	46	加美区市原 670-15	69.00	普通		使用 貸借	10頭/年の捌きでは、同施設を維持管理している猟友会単独の持ち出しも大きく、安定的な販売からは程遠い。しかし、平成23年度に北播磨内での鹿肉加工処理施設の拠点として多くの補助金が投入された経緯があるため、多可町単独での処分は難しい。よって県との協議が必要不可欠。	△

※最終結果 ○（現状維持） ▲（現状維持するが修繕しない）
 △（譲渡等検討、手放す方向で調整） ×（廃止、取り壊し）

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分1	施設 区分2	運営	取り組む方向性	結果
8	マイスター工房八千代(加工部門)	47	八千代区中村46-1	207.00	行政	公共用	使用貸借	条例廃止し、使用貸借しているマイスター工房八千代に譲受の意向を確認する。意向が無ければ新たな利活用について公募する。	△
9	中地域交流物産館「夢蔵」	177	中区天田340-1	42.00	普通		使用貸借	使用貸借先の夢蔵に譲受の意向を確認する。なければ、(株)まちの駅たかに確認する。なければ、新たな利活用について広く公募し、受手がなければ廃止。	△
10	介護支援センター(ヘルパーステーション)	69	加美区寺内123	441.00	普通		使用貸借	社会福祉協議会に譲受の意向を確認し、なければ廃止(取壊)	△
11	加美消防駐在所	81	加美区丹治500-1	79.00	普通		使用貸借	平成31年4月から3出張所体制となり、新たに建設する施設(建物)は組合、底地は町となる。よって、現在の施設は不要となるため廃止。加美区は平成29年度実施設計、平成30年度建設。平成31年4月から供用開始。	×
12	八千代コミュニティプラザ別館「八千代消防駐在所」	82	八千代区中野間650	324.00	普通		使用貸借	平成31年4月から3出張所体制となり、新たに建設する施設(建物)は組合、底地は町となる。八千代区は平成29年度実施設計、平成30年度建設。平成31年4月から供用開始。 周辺駐車場の確保が難しいため、建物は取り壊しが望ましい。なお、現在は八千代区の選挙道具等保管場所となっているが、今後、改修してまで他団体への貸し付けや倉庫としての利用を推進すべき施設とは言い難く、修繕が必要なのであれば廃止。ただし、消防無線の基地アンテナが設置されており、消防組合との調整による移設時期まで現有が必要。	×
13	多可消防署	-	中区岸上281-173	446.00	普通		使用貸借	平成31年4月から3出張所体制となる。現在の多可署は建て替えを予定しており、新たに建設する施設(建物)は組合、底地は町となる。よって、現在の施設は不要となるため廃止。中区は平成30年度建設場所の検討、平成31年度実施設計、平成32年度建設により、平成33年4月から供用開始予定。	×

※最終結果 ○（現状維持） ▲（現状維持するが修繕しない）
 △（譲渡等検討、手放す方向で調整） ×（廃止、取り壊し）

NO	施設名	白書番号	住所	延床面積(m ²)	施設区分1	施設区分2	運営	取り組む方向性	結果
14	旧中町幼稚園	156	中区岸上 224-17	986.00	行政	公用	一時	中児童館、教育集会所、旧中町幼稚園、みなみ児童館、子育てふれあいセンターは、全体として関係者との調整が必要であることから、教育委員会が別途協議中。協議結果に委ねる。 旧中町幼稚園は、生涯学習や社会教育、図書館施設としての活用も遊具やグラウンドも備えており周辺施設と連携した複合施設としても有効と考えられる。	○
15	旧中給食センター	157	中区奥中 592-1	719.00	行政	公用	倉庫	新庁舎建設直後は、倉庫確保に苦慮することが予想されることから現状維持。	○
16	通園バス等車庫	158	中区岸上 224-11	163.00	行政	公用	倉庫	両キッズランドが民営化しても、バスは町有のため現状維持。	○
17	倉庫(旧中区特設第1分団消防庫)	153	中区中村町 119-2	118.00	行政	公用	倉庫	消防自動車置き場として現状維持。	○
18	旧加美給食センター	162	加美区豊部 483	407.00	普通		賃貸借	現在の契約先に譲受けの意向を確認し譲渡へ。	△
19	みどり工業所	163	加美区門村 472-1	614.00	普通		使用貸借	社会福祉協議会からみどり工業所に貸し付けしている。みどり工業所の意向を確認して譲渡・廃止を検討する。	△×
20	旧加美みなみ保育所	164	加美区寺内 291-3	680.00	普通			地元集落に譲受の意向を確認。無ければ、新たな利活用について公募。受手がなければ廃止。	△
21	加美水防倉庫	127	加美区豊部 237-1	92.00	行政	公用	倉庫	現状維持。	○
22	八千代水防倉庫	126	八千代区中野間 667-1	32.00	行政	公用	倉庫	水防倉庫として、利用に便利な場所での空き施設が出れば移転利用も検討するが、現段階では現状維持。	○
23	川東倉庫	166	加美区豊部 1898-5	75.00	行政	公用	倉庫	櫓等、夏祭りの道具置場として利用中。現状維持。	○
24	旧アスピア施設校舎	168	加美区豊部 1879-1	2,097.00	普通		賃貸借	現在は相生学院に貸し付けているが、青年の家の新たな利活用で、同施設も一体として活用していく。建物は無償で、土地は有償で貸し付ける予定。	▲
25	旧八千代給食センター	173	八千代区下三原 615-1	279.00	普通			地元集落(下三原)に譲受の意向が無ければ、廃止。	×
26	エーデルささゆり車庫・倉庫	174	八千代区中野間 363-13	340.00	行政	公用	倉庫	エーデルささゆりと一体的に利用。現状維持。	○
27	旧八千代保健センター	175	八千代区中野間 650	600.00	行政	公用	倉庫	文書保管場所として継続利用。	○
28	旧八千代北小学校	56	八千代区下村 316-2	3,431.00	行政	公用	一時	地元の意向を汲み、公募により利活用を決定する予定。	△
29	旧八千代西小学校	57	八千代区大和 1367	2,530.00	普通		賃貸借	賃貸借契約期間は現状維持。契約期間後は更新等の意向を確認のうえ、再度、地元集落の意向を与したうえで、公募により利活用を決定。	△

※最終結果 ○（現状維持） ▲（現状維持するが修繕しない）
 △（譲渡等検討、手放す方向で調整） ×（廃止、取り壊し）

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分 1	施設 区分 2	運営	取り組む方向性	結果
30	八千代老人福祉センター「林泉荘」	74	八千代区俵田 178-4	718.25	普通			地権者や関係者の意向を与するとともに、解体時期については他区の老人福祉施設（おもいで荘、春蘭荘）と同時期に整理することが望ましい。	×
31	旧ウッディー教室	182	加美区三谷 663-1	81.50	普通			北播磨チェーンソーアートクラブに使用貸借予定。底地が地元（三谷）集落のため、建物の譲渡等の処分については地元集落との協議が必須。 地元が他団体への譲渡等を希望しなかった場合、廃止の方向で調整。	△×
				17,279.74					

【一覧表の説明】

※施設区分 1：○行政財産（地方公共団体において、直接に公の目的に供することを決定した公有財産）

○普通財産（行政財産以外の公有財産）

※施設区分 2：○公 用（地方公共団体みずからの使用に供することを目的とした財産。例：庁舎など）

○公共用（住民の利益のために一般的に共同使用させることを目的とした財産。例：公園、図書館など）

2. それ以外の施設

2-1. 評価方法

(1) 第1段階評価

公共施設再配置の検討の第1段階として、施設個々の取り扱い（方向性・目安）を『評価マトリックス』（※1）により実施しました。

a) 評価マトリックスの構成

2つの視点（X軸・Y軸）で評価を行いました。

- ・公共性評価（X軸・横軸）・・・公的関与の必要性・妥当性
- ・施設評価（Y軸・縦軸）・・・有効性（地域内互換性、利便性、利用者状況）、効率性、安全性（施設老朽度、耐震性能）

b) 基本的な考え方

■個々の施設について恣意性を排し、一律（公平）に評価を実施しました。

○ 評価する項目について、それぞれの項目で点数化します。

- ・利用人数やコストは、1㎡当たりの値で算出します。
- ・改修の実施状況や耐震性能等は、建物そのもののデータから算出します。

■評価マトリックスの分布は大きな偏りが無いようにしました。

○ 評価マトリックスへの配置は、上位3割、中間4割、下位3割とします。

○ 個々の建物の設置根拠（条例）に基づき、下図のとおり目的別に施設を分けした全9分類とします。

1	市民文化系施設
2	社会教育系施設
3	スポーツ・レクリエーション系施設
4	産業系施設
5	子育て支援施設
6	保健・福祉施設
7	医療施設
8	行政系施設
9	その他

※1 評価マトリックス：公共施設が持つ価値を2つの指標を使って、それぞれ3段階に分類し、再配置の検討にあたっての優先度を判断するものです。

c) 公共性評価（X軸・横軸）の構成

【目的】

- ・施設について、公の機関（町）が担っていく必要性や関わっていく必要性の強弱をつけます。
- ・具体的には、『役所が主体となって維持し続けるべき施設』、『役所関与の必要性が高い施設（法的に役場でしか扱えないような事務を行う施設等）』の強弱をつけます。

【考え方】

- ・限りある財源を適切に活用するため、一律に公的関与の必要性・妥当性を明確化します。

【評価内容】

- ・上記の目的に基づき、下記6項目設定し、配点を次のとおりとします。

項目	内 容	YES	NO
1	住民の生命、財産、権利を擁護し、又は、住民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、助言、情報提供、相談、教育等のための施設	1点	
2	個人のみでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）となる施設	1点	
3	施設の設置時と比較して、社会経済情勢が変化し、あるいは目的がすでに達成された等、概ね施設の意義が失われた施設		1点
4	不特定多数の住民を対象としているが、実際の利用が特定の利用者に限られている、又はニーズが明らかに低下している施設		1点
5	当該施設を町が直接管理運営することにより、効率的・効果的な運営が期待できる施設	1点	
6	当該施設の管理運営に係る業務を民間等に任せることで、歳出抑制が期待できる施設		1点

※備考）当初は『町の個性、特性、魅力を継承・発展・創造する施設』という項目を設定しようとしたが、公共施設は多かれ少なかれ全てこれに該当するとの意見から、評価項目から除外した。なお、同項目については、第2段階の『地域特性評価』等で検討する。

d) 施設評価（Y軸・縦軸）の構成

【目的】

- ・評価項目毎に上限値（3点）を設定し、どの施設を優先していくのか（残していくのか）の判断材料を得ます。

【考え方】

- ・縦軸（Y軸）に設定した評価項目について、類型別に偏差値を算出し、「個々の施設」を評価マトリックスに配置します。
- ・本町は、公共施設について、旧町（3町）において多種多様な施設を整備した結果、合併後の多可町内には同種同類の施設が多く存在します。そこで、類型別に偏差値化を行い、同種同類の施設における優先順位を判断する材料とします。

【評価内容】

1. 有効性について

項目	内容	
①地域内 互換性	目的	町の施設において、同種同様の施設やサービス・機能が類似する施設が存在するかどうかを明らかにします。
	配点	町内に同様の施設が無い場合は3点。
	※補足	今後、集約や統合等を検討していく視点となります。よって、国・県、民間が設置する施設においても、その状況を明らかにします。なお、定住自立圏等の近隣市町とのサービス連携の視点については、第2段階の地域特性評価で考慮します。
②利便性	目的	当該施設がどのような場所に設置されているかを明らかにします。
	配点	・3点（メッシュ人口の多い上位3割） ・2点（メッシュ人口の多い中間4割） ・1点（メッシュ人口の多い下位3割） 〔評価マトリックスの配置基準を採用〕
	※補足	人口算出は、施設の設置場所について、国土交通地理院が公表しているH27国勢調査における居住人口を、当該施設がある500mメッシュ人口とそれを囲む500mメッシュ人口の計9つのメッシュ人口を算出します。
③利用者 状況	目的	1㎡当たりの利用者数を比較します。
	配点	・3点（類型別に利用者が多い上位3割） ・2点（類型別に利用者が多い中間4割） ・1点（類型別に利用者が多い下位3割） 〔評価マトリックスの配置基準を採用〕
	※補足	倉庫を除く公用施設（役場、アスパル（福祉棟）等の行政事務を執行するための施設）は、利用人数の把握が難しいにも拘わらず、住民の利用頻度が高い施設であるため、最高点の3点とします。

2. 効率性について

項目	内容	
①効率性	目 的	基本原則の出来るだけ一律（公平）な評価を実施するため、1 m ² 当たりの管理コストを比較します。
	配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（類型別に管理コストが低い上位3割） ・2点（類型別に管理コストが低い中間4割） ・1点（類型別に管理コストが低い下位3割） [評価マトリックスの配置基準を採用]
	※補足	管理コストは、『歳出』から『歳入』を引いた値とし、次の範囲とします。 なお、複数の施設を一括して指定管理している場合、個々の施設にかかるコストは、面積按分して算出します。 『歳出』：光熱水費、施設の維持管理にかかる委託料、借地料、施設の維持補修費、その他施設の維持管理費（指定管理料等） ※当該施設で実施するソフト事業等にかかるコストは対象外 『歳入』：施設の使用料 ※建物本体が生み出す収入のみ対象

3. 安全性について

項目	内容		
①施設 老朽度	1)建物 耐用年数	目 的	建築年月日からの経過年数により算出した残存耐用年数が耐用年数全体においてどの程度なのか（老朽化の程度）を把握します。
		配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（残存耐用年数÷耐用年数が2/3以上） ・2点（残存耐用年数÷耐用年数が1/2以上2/3未満） ・1点（残存耐用年数÷耐用年数が1/2未満）
	2)改修の 実施状況	目 的	建築後、施設改修等を実施し、建物を長寿命化させた施設について、その程度を点数化して全体としての老朽度を明らかにします。
		配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（大規模改修工事〔一式〕） ・2点（内装工事＋外装工事等） ・1点（内装工事のみ）
②耐震性能	目 的	法律で決められた耐震基準によって、耐震性の度合いを点数化します。	
	配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（新耐震基準） ・2点（旧耐震基準だが耐震改修済み） ・1点（旧耐震基準） 	

■第1段階評価結果

・施設をX軸とY軸で評価した結果、A～Eまでの5段階にランク付けを行いました。DとEについては、

施設評価（Y軸）	偏差値が高い	C 10,038.1㎡（6.6%）	B'
	偏差値が平均	D 12,038.7㎡（7.9%）	C
	偏差値が低い	E 10,210.6㎡（6.7%）	D
		低	公共性評価

健康福祉センター「アスパルアリーナ」
文化会館「ベルディーホール」
杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」
農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」
中児童館
松井庄診療所官舎
温水プール「サンスイム・カミ」
図書館
ビジターセンター「那珂ふれあい館」
農村環境改善センター「グリーンプラザ」
ラベンダー園育苗販売加工施設

杉原紙研究所
杉原谷診療所
松井庄診療所

北アリーナ
加美体育館
八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」
ラベンダー園活性化施設
笠形山自然公園センター「ネイチャーパークかさがた」
中央公民館
北公民館
かみの朝市南直売所
道の駅「山田錦発祥のまち・多可」（まちの駅・たか）
八千代体育館
ガルテン八千代管理棟
大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」
中老人福祉センター「おもいで荘」
加美老人福祉センター「春蘭荘」
和紙博物館「寿岳文庫」
鍛冶屋線記念館
交流会館
みなみ児童館

認知症高齢者グループホーム
余暇村公園 管理事務所
かみ総合福祉センター
加美小規模作業所兼ふれあい

青年の家「エコミール加美」
滞在型市民農園「ブライベンオオヤ」
滞在型市民農園「ブルーメンやまと」
中央公園プール
林業者休養施設「悠遊館」
交流促進センター(催事館)「リーベリエン」
北部体育館
鳥羽キャンプ場
八千代B & G海洋センター（プール）
モルゲンハイト（交流施設分）
子育てふれあいセンター
道の駅「杉原紙の里・多可」
農林業公園「ハーモニーパーク」
横屋自然観察館「きらら館」
農村婦人の家
余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」
滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」
紙匠庵でんでん

高齢者障害者等活動及び生活
中在宅心身障害者小規模通所
たかテレビ局
国民健康保険八千代診療所
教育集会所

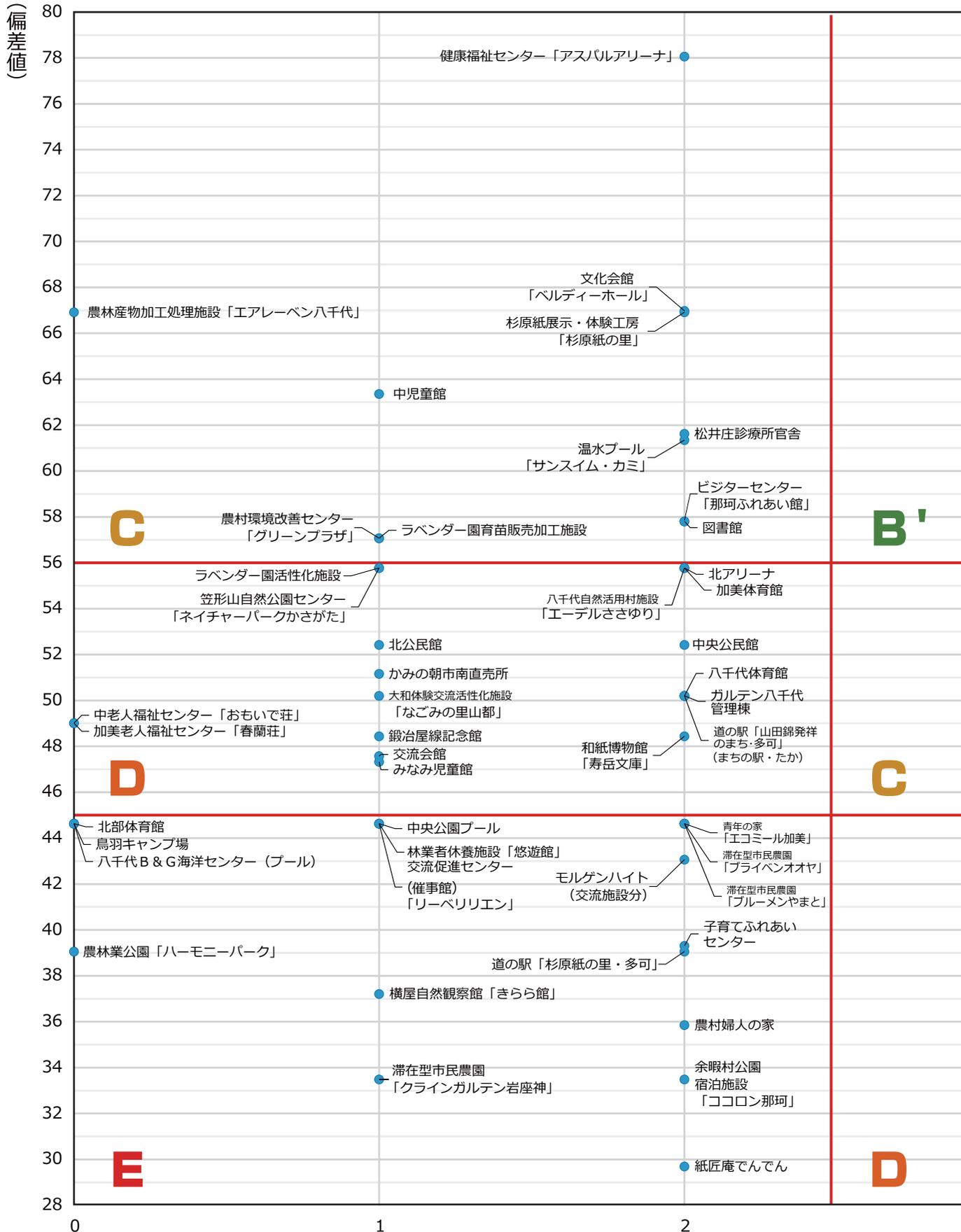
第2段階評価の対象となります。

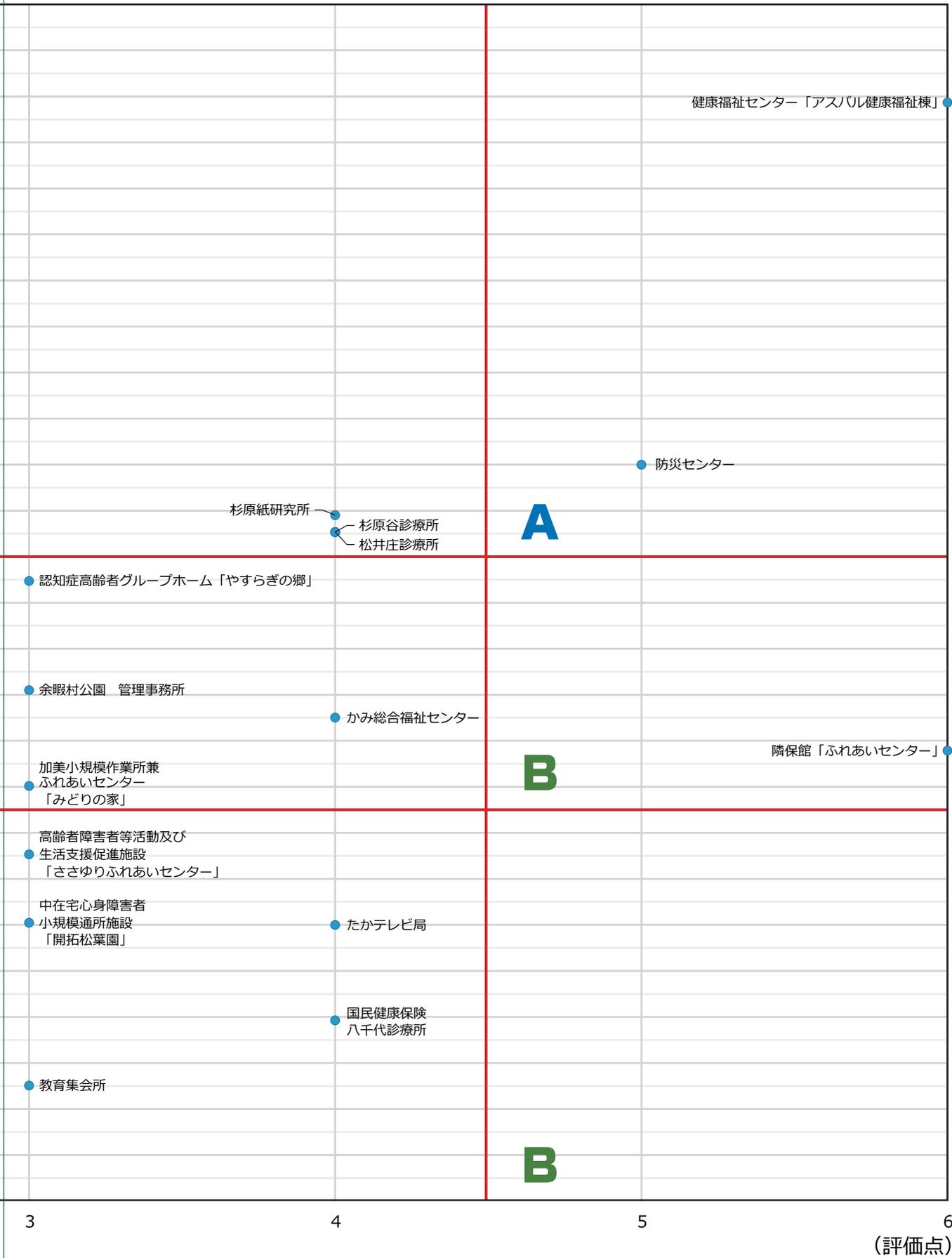
1,474.8㎡ (1.0%)	A 3,074.9㎡ (2.0%) 健康福祉センター「アスパル健康福祉棟」 防災センター
2,255.1㎡ (1.5%)	B 276.0㎡ (0.2%) 隣保館「ふれあいセンター」
2,500.3㎡ (1.7%)	B 0.0㎡ (0.0%) 支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」 施設「開拓松葉園」

中 高

(X軸)

■ 散布図（第1段階評価結果）





■再配置マップ（第1段階評価結果）

		地区名		中区		
		地区人口(H28.8)		10,051人		
		小学校区名		中町北小学校区	中町南小学校区	
		小学校区人口(H28.8)		3,772人	6,279人	
市民文化系施設	集会施設	 教育集会所  隣保館「ふれあいセンター」	 中央公民館			
	文化系施設		 文化会館「ベルディーホール」			
社会教育系施設	博物館	 鍛冶屋線記念館  ビジターセンター「那珂ふれあい館」	 図書館			
	観光施設					
スポーツ・レクリエーション系施設	体育施設(体育館)	 健康福祉センター「アスバルアリーナ」  北アリーナ				
	体育施設(運動場)					
	体育施設(プール)	 中央公園プール				
	観光施設	 余暇村公園管理事務所  道の駅「山田錦発祥のまち・多可」(まちの駅・たか)				
	宿泊施設	 余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」				
	滞在型市民農園					
産業系施設	産業振興		 農村環境改善センター「グリーンプラザ」			
	作業所		 農村婦人の家			
子育て支援施設	児童館		 中児童館			
保健・福祉施設	高齢福祉施設	 中老人福祉センター「おもいで荘」				
	障害福祉施設		 中在宅心身障害者小規模通所施設「開拓松葉園」			
	その他	 健康福祉センター「アスバル健康福祉棟」				
医療施設	診療施設					
行政系施設	消防施設		 防災センター			
	その他					
その他	その他					
	小学校区別	延床面積計(m ²)	9,257.7			
	町民一人あたりの延床面積(m ²)	2.45				
地区別	延床面積計(m ²)					
	町民一人あたりの延床面積(m ²)					

※列幅は、人口規模と比例している

加美区 6,379人		八千代区 5,452人			総人口	
杉原谷小学校区	松井小学校区	旧八千代北小学校区	旧八千代南小学校区	旧八千代西小学校区		
2,949人	3,430人	1,184人	3,351人	917人	21,882人	
② 北公民館	② 交流会館				延床面積計 (㎡)	
					5,841.0	
和紙博物館「寿岳文庫」 紙匠庵でんでん 杉原紙研究所					2,573.0	
① 北部体育館	⑤ 加美体育館		⑥ 八千代体育館 ガルデン八千代管理棟		20,926.3	
道の駅「杉原紙の里・多可」 杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」 ラベンダー園活性化施設	温水プール「サンスイム・カミ」		② 八千代B&G海洋センター(プール)			
② 農業公園「ハーモニーパーク」 ① ● 鳥羽キャンプ場	林業者休養施設「悠遊館」 ① ● 青年の家「エコミール加美」	笠形山自然公園センター「ネイチャーパークかさかた」	① 交流促進センター(催事館)「リーベリエン」 農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」 大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	① 八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」		
ラベンダー園育苗販売加工施設	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	滞在型市民農園「ブライベンオオヤ」	滞在型市民農園「ブルーメンやまと」			
					1,250.1	
	② みなみ児童館		子育てふれあいセンター		1,006.7	
かみ総合福祉センター ② 加美老人福祉センター「春蘭荘」 認知症高齢者グループホーム「やすらぎの郷」 加美小規模作業所兼ふれあいセンター「みどりの家」			⑤ 高齢者障害者等活動及び生活支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」		7,307.2	
杉原谷診療所	松井庄診療所	国民健康保険八千代診療所「モルゲンハイト八千代」	国民健康保険八千代診療所「八千代診療所」		1,913.3	
	③ たかテレビ局				725.8	
	● 杉原庄診療所官舎 ● かみの朝市南直売所	① ● 横屋自然観察館「きらら館」			325.0	
6,626.0	6,974.6	7,849.7	2,912.1	5,761.7	2,486.6	41,868.4
1.06	2.37	2.29	2.46	1.72	2.71	1.91
15,883.7		14,824.2			11,160.4	41,868.4
1.58		2.32			2.05	1.91

【色表示】
■ A、B、B'、Cエリア ■ Dエリア ■ Eエリア

【施設面積と図表示】

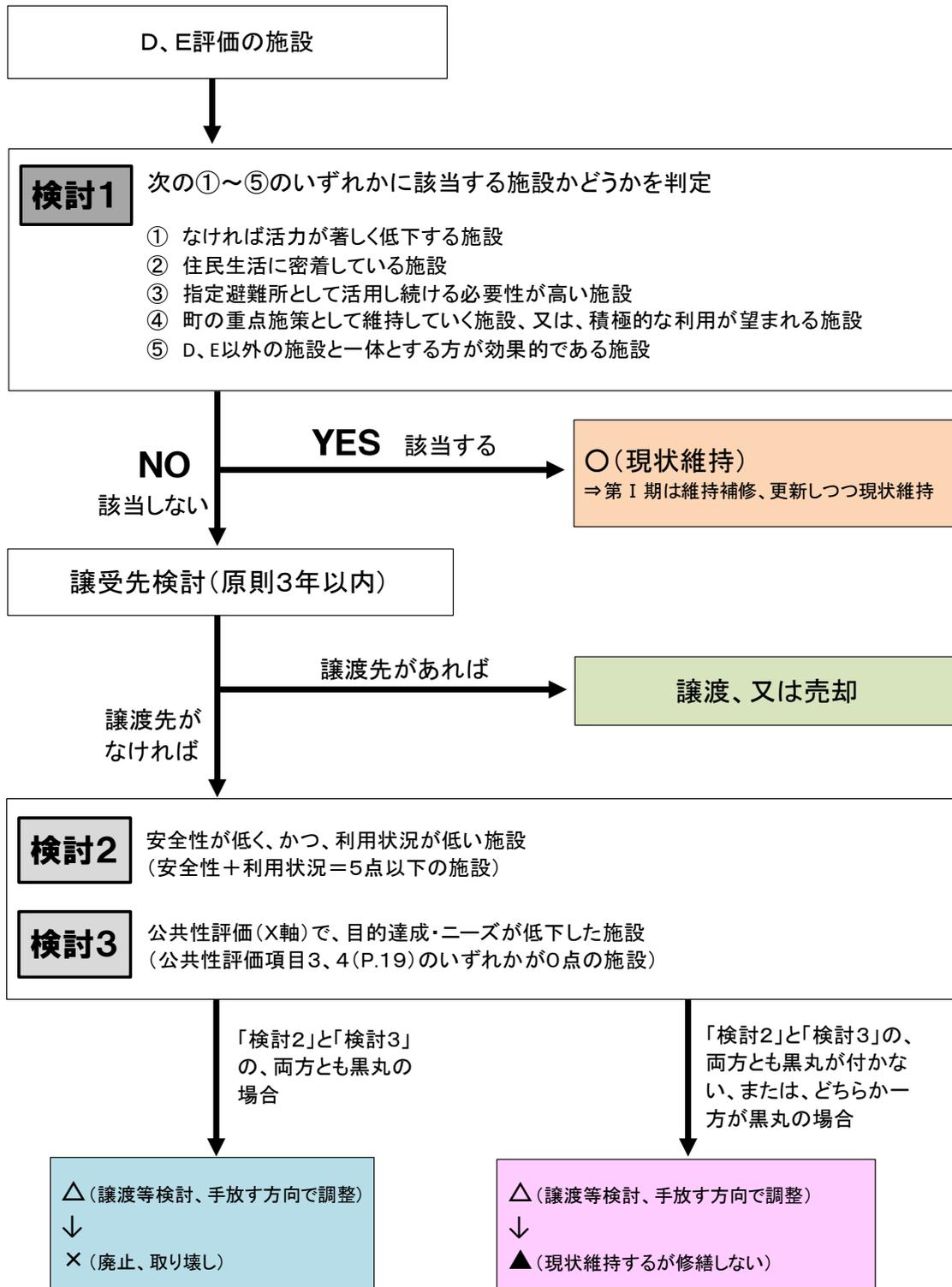
【マーク表示】
 ① 安全性+利用状況=5点以下
 ② 公共性評価項目3、4(P.19)がともに0点
 ③ 施設評価項目「①地域内互換性」(P.20)が3点
 ⑤ 避難所に指定されている施設

○ 1施設で活用目的が複数ある施設
 ○ 他の施設で一体として使うことで効果が期待できる施設

(2) 第2段階評価

第1段階評価の結果に基づき、庁内ワークショップ、及び庁内ヒアリングから、第I期ではD、E評価に位置付けられた施設を第2段階評価（地域性等評価）で評価しました。

第2段階評価は以下の流れで行いました。



■第2段階評価結果

第2段階評価をした結果、下表のとおりとなりました。

表 第2段階評価結果

内容	施設数
○（第I期は維持補修、更新しつつ現状維持）	22 施設
▲（現状維持するが修繕しない）	11 施設
×（廃止、取り壊し）	8 施設
計	41 施設

第2段階評価フロー図該当項目一覧

小学校区	施設類型	白書番号	施設名	延床面積	運営	評価結果	検討1		
							①なければ活力が著しく低下する施設(所有主体は別として、ある程度、経済効果が見込まれる宿泊施設、観光施設)	②住民生活に密着している施設	③指定避難所とし続ける必要性が設
中町北小	市民文化系施設	5	教育集会所	235.00		D			
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	14	中央公園プール	215.00	指定管理	E		■	
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロ那珂」	1,145.97	指定管理	E	■		
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」(まちの駅・たか)	184.54	指定管理	D	■		
中町南小	市民文化系施設	3	中央公民館	1,453.00		D		■	■
杉原谷小	社会教育系施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	138.99		D			
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	24	ラベンダー園活性化施設	311.00	指定管理	D			
杉原谷小	社会教育系施設	160	紙匠庵でんでん	59.00		E			
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	534.00	指定管理	E			
松井小	市民文化系施設	7	交流会館	612.00		D			
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	18	加美体育館	991.00		D			■
松井小	子育て支援施設	61	みなみ児童館	280.00		D		■	
旧八千代北小	医療施設	77.1	国民健康保険八千代診療所	919.50		D		■	
旧八千代北小	保健・福祉施設	77.2	モルゲンハイト(交流施設分)	133.50		E		■	
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	31	八千代体育館	918.00		D			■
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	32	ガルテン八千代管理棟	186.00		D			
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	34	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	1,527.00	指定管理	D			
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	33	八千代B&G海洋センター(プール)	200.00	指定管理	E		■	
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	35	交流促進センター(催事館)「リーベリエン」	612.00	指定管理	E			
旧八千代南小	子育て支援施設	178	子育てふれあいセンター	470.70		E		■	
旧八千代南小	保健・福祉施設	73	高齢者障害者等活動及び生活支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」	780.00	指定管理	D			■
旧八千代西小	スポーツ・レクリエーション系施設	39	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	1,148.00	指定管理	D	■		
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	15	北アリーナ	942.00		D			
中町南小	産業系施設	43	農村婦人の家	266.00		E			□
杉原谷小	市民文化系施設	8	北公民館	271.00		D			
杉原谷小	保健・福祉施設	70	加美老人福祉センター「春蘭荘」	1,243.00	指定管理	D			
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	25	農林業公園「ハーモニーパーク」	651.92	指定管理	E			
松井小	行政系施設	80	たかテレビ局	433.79		D			
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	26	青年の家「エコミール加美」	1,762.00	指定管理	E			
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	30	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	1,015.86	指定管理	E			
旧八千代北小	スポーツ・レクリエーション系施設	37	笠形山自然公園センター「ネイチャーパークかさかた」	1,121.12	指定管理	D			
旧八千代北小	スポーツ・レクリエーション系施設	38	滞在型市民農園「プライベンオオヤ」	679.00	指定管理	E			
旧八千代西小	スポーツ・レクリエーション系施設	40	滞在型市民農園「ブルーメンやまと」	1,338.60	指定管理	E			
中町北小	社会教育系施設	10	鍛冶屋線記念館	90.00		D			
中町北小	保健・福祉施設	66	中老人福祉センター「おもいで荘」	525.00		D			
中町南小	保健・福祉施設	67	中在宅心身障害者小規模通所施設「開拓松葉園」	132.00	指定管理	D			
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	20	北部体育館	584.00		E			□
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	23	鳥羽キャンプ場	114.00	指定管理	E			
松井小	その他	161	かみの朝市南直売所	97.00	指定管理	D			
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	27	林業者休養施設「悠遊館」	370.00	指定管理	E			
旧八千代北小	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	59.00		E			

□ は、現在指定避難所となっているが、安全性等の面から検討の余地がある施設

① は、その他、Cエリアの杉原紙展示体験工房「杉原紙の里」とB'エリアの杉原紙研究所と一体利用

② は、Cエリアのラベンダー園育苗販売加工施設と一体利用

③ は、A-C施設と一体でないが、「八千代体育館」がDから外れることにより「ガルテン八千代管理棟」と一体利用

④ は、A-C施設と一体でないが、「エーデルささゆり」がDから外れることにより「リーベリエン」と一体利用

		検討2	検討3	結果	備考	
て活用 高い施	④町の重点施策として維持 していく施設、又は、積極的 な利用が望まれる施設	⑤D、E以外の施設と一体と する方が効果的である施設	安全性低く、かつ、利用状 況が低い施設 (安全性+利用状況:5点以下)	公共性評価で、目的達成・ ニーズが低下した施設 (公共性評価項目3、4(P.19) のいずれかが0点)		
	■		●	●	○	現状維持しつつ譲渡を検討。
			●	●	○	
					○	
				●	○	
		①		●	○	
		②		●	○	
		①			○	
		①			○	
	■			●	○	現状維持しつつ譲渡を検討。
				●	○	
				●	○	
		③		●	○	
		③	●		○	八千代体育館等と一体施設のため。
	■	④		●	○	
		④	●	●	○	エーデルささゆりと一体施設ため。
				●	○	
				●	○(△⇒▲)	施設を独占的に使用していることから、条件付きで譲渡を検討。
				●	○(△⇒▲)	現状維持しつつも譲渡を検討。
			●		△⇒▲	
			●		△⇒▲	避難所として指定されているが、安全性が低いため譲渡を検討。
				●	△⇒▲	
				●	△⇒▲	
				●	△⇒▲	現状維持しつつ譲渡。平成33年度から民間へ使用貸借予定。
				●	△⇒▲	局舎は更新はしない。Eo契約及び機器リース起案を確認して テレビの方向性を再検討する。
			●		△⇒▲	施設修繕はしない。譲渡・廃止を検討。平成30年4月1日から 民間へ使用貸借。
				●	△⇒▲	
				●	△⇒▲	指定管理料がないため、現状維持しつつ、譲渡・廃止検討。
					△⇒▲	市民農園法に基づき、譲渡先がなければ廃止。
					△⇒▲	市民農園法に基づき、譲渡先がなければ廃止。
			●	●	△⇒×	条例の見直しを検討。
			●	●	△⇒×	
			●	●	△⇒×	
			●	●	△⇒×	避難所として指定されているが、安全性が低いため廃止。
			●	●	△⇒×	
			●	●	△⇒×	
			●	●	△⇒×	施設修繕はしない。譲渡・廃止を検討。平成30年4月1日から民間 へ使用貸借。
			●	●	△⇒×	横屋集落へ譲渡検討。

※ 評価結果
○(第I期は維持補修、更新しつつ現状維持)
△(譲渡等検討、手放す方向で調整)
▲(現状維持するが修繕しない)
×(廃止、取り壊し)

2-2. 最終評価結果

対象施設について、第1段階評価結果(A~E ランク付け)と第2段階評価の結果を示します。

第1段階評価では、62施設の中で、Dランクが23施設、Eランクが18施設、計41施設が第2段階評価の対象となりました。

第2段階評価では、○(第I期は維持補修、更新しつつ現状維持)が22施設、▲(現状維持するが修繕しない)が11施設、×(廃止、取り壊し)が8施設となりました。

今後は、第I期として、▲と×の19施設について、譲渡、廃止・取り壊しの検討を進めます。

なお、A~Cランクについては、原則、第I期は現状維持とします。

■第1段階評価結果

ランク	施設数
Aランク	2施設
Bランク	1施設
B'ランク	3施設
Cランク	15施設
Dランク	23施設
Eランク	18施設
計	62施設

■第2段階評価結果

内容	施設数
○(第I期は維持補修、更新しつつ現状維持)	22施設
▲(現状維持するが修繕しない)	11施設
×(廃止、取り壊し)	8施設
計	41施設

※各ランクに拘らず、政策的に個々の施設において調整をする場合があります。

かみ総合福祉センター、認知症高齢者グループホーム「やすらぎの郷」は第1段階評価結果ではCランクとなっていますが、平成30年度に多可町社会福祉協議会に譲渡することとなっています。

■多可町公共施設最終評価結果（第1段階、第2段階）一覧

小学校区	施設類型	白書番号	施設名	延床面積	運営	第1段階 評価結果		第2段階 評価結果
中町北小	市民文化系施設	1	隣保館「ふれあいセンター」	276.00		B		-
中町北小	市民文化系施設	5	教育集会所	235.00		D	⇒	○
中町北小	社会教育系施設	10	鍛冶屋線記念館	90.00		D	⇒	△⇒×
中町北小	社会教育系施設	11	ビジターセンター「那珂ふれあい館」	1,170.00		C		-
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	14	中央公園プール	215.00	指定管理	E	⇒	○
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	15	北アリーナ	942.00		D	⇒	△⇒▲
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	1,145.97	指定管理	E	⇒	○
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」 (まちの駅・たか)	184.54	指定管理	D	⇒	○
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	65.2	健康福祉センター「アスパルアリーナ」	1,147.00		C		-
中町北小	スポーツ・レクリエーション系施設	125	余暇村公園 管理事務所	544.31		C		-
中町北小	保健・福祉施設	65.1	健康福祉センター 「アスパル健康福祉棟」	2,782.90		A		-
中町北小	保健・福祉施設	66	中老人福祉センター「おもいで荘」	525.00		D	⇒	△⇒×
中町南小	市民文化系施設	3	中央公民館	1,453.00		D	⇒	○
中町南小	市民文化系施設	4	文化会館「ベルディーホール」	2,994.00		C		-
中町南小	社会教育系施設	2.1	図書館	634.01		C		-
中町南小	産業系施設	42	農村環境改善センター 「グリーンプラザ」	599.00		C		-
中町南小	産業系施設	43	農村婦人の家	266.00		E	⇒	△⇒▲
中町南小	子育て支援施設	59	中児童館	256.00		C		-
中町南小	保健・福祉施設	67	中在宅心身障害者小規模通所施設 「開拓松葉園」	132.00	指定管理	D	⇒	△⇒×
中町南小	行政系施設	79	防災センター	292.00		A		-
杉原谷小	市民文化系施設	8	北公民館	271.00		D	⇒	△⇒▲
杉原谷小	社会教育系施設	12	杉原紙研究所	481.00		B		-
杉原谷小	社会教育系施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	138.99		D	⇒	○
杉原谷小	社会教育系施設	160	紙匠庵でんでん	59.00		E	⇒	○
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	20	北部体育館	584.00		E	⇒	△⇒×
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	23	鳥羽キャンプ場	114.00	指定管理	E	⇒	△⇒×
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	24	ラベンダー園活性化施設	311.00	指定管理	D	⇒	○
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	25	農林業公園「ハーモニーパーク」 ※2	651.92	指定管理	E	⇒	△⇒▲
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	534.00	指定管理	E	⇒	○
杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	29	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	122.00		C		-
杉原谷小	産業系施設	44	ラベンダー園育苗販売加工施設	385.10	指定管理	C		-
杉原谷小	保健・福祉施設	68	かみ総合福祉センター ※1	1,047.00	指定管理	C		-
杉原谷小	保健・福祉施設	70	加美老人福祉センター「春蘭荘」	1,243.00	指定管理	D	⇒	△⇒▲
杉原谷小	保健・福祉施設	71	加美小規模作業所兼ふれあいセンター 「みどりの家」	298.00	指定管理	C		-
杉原谷小	保健・福祉施設	72	認知症高齢者グループホーム 「やすらぎの郷」 ※1	365.78	指定管理	C		-
杉原谷小	医療施設	75	杉原谷診療所	368.78		B		-

小学校区	施設類型	白書番号	施設名	延床面積	運営	第1段階評価結果		第2段階評価結果
松井小	市民文化系施設	7	交流会館	612.00		D	⇒	○
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	18	加美体育館	991.00		D	⇒	○
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	19	温水プール「サンスイム・カミ」	1,494.00	指定管理	C		-
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	26	青年の家「エコミール加美」 ※2	1,762.00	指定管理	E	⇒	△⇒▲
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	27	林業者休養施設「悠遊館」 ※2	370.00	指定管理	E	⇒	△⇒×
松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	30	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	1,015.86	指定管理	E	⇒	△⇒▲
松井小	子育て支援施設	61	みなみ児童館	280.00		D	⇒	○
松井小	医療施設	76	松井庄診療所	625.00		B		-
松井小	行政系施設	80	たかテレビ局	433.79		D	⇒	△⇒▲
松井小	その他	161	かみの朝市南直売所	97.00	指定管理	D	⇒	△⇒×
松井小	その他	167	松井庄診療所官舎	169.00		C		-
旧八千代北小	スポーツ・レクリエーション系施設	37	笠形山自然公園センター「ネイチャーパークかさかた」	1,121.12	指定管理	D	⇒	△⇒▲
旧八千代北小	スポーツ・レクリエーション系施設	38	滞在型市民農園「ブライベンオオヤ」	679.00	指定管理	E	⇒	△⇒▲
旧八千代北小	保健・福祉施設	77.2	モルゲンハイト（交流施設分）	133.50		E	⇒	○
旧八千代北小	医療施設	77.1	国民健康保険八千代診療所	919.50		D	⇒	○
旧八千代北小	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	59.00		E	⇒	△⇒×
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	31	八千代体育館	918.00		D	⇒	○
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	32	ガルテン八千代管理棟	186.00		D	⇒	○
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	33	八千代B&G海洋センター（プール）	200.00	指定管理	E	⇒	○
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	34	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	1,527.00	指定管理	D	⇒	○
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	35	交流促進センター（催事館）「リーベリリエン」	612.00	指定管理	E	⇒	○
旧八千代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	36	農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」	1,068.00	指定管理	C		-
旧八千代南小	子育て支援施設	178	子育てふれあいセンター	470.70		E	⇒	○
旧八千代南小	保健・福祉施設	73	高齢者障害者等活動及び生活支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」	780.00	指定管理	D	⇒	○ (△⇒▲)
旧八千代西小	スポーツ・レクリエーション系施設	39	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	1,148.00	指定管理	D	⇒	○ (△⇒▲)
旧八千代西小	スポーツ・レクリエーション系施設	40	滞在型市民農園「ブルーメンやまと」	1,338.60	指定管理	E	⇒	△⇒▲
計				41,868.37				

※1：かみ総合福祉センター、認知症高齢者グループホーム「やすらぎの郷」は第1段階評価結果ではCランクとなっていますが、平成30年度に多可町社会福祉協議会に譲渡することとなっています。

※2：白書番号25 農林業公園「ハーモニーパーク」 ⇒ 平成33年度から民間へ使用貸借予定
 白書番号26 青年の家「エコミール加美」 ⇒ 平成30年4月1日から民間へ使用貸借
 白書番号27 林業者休養施設「悠遊館」 ⇒ 平成30年4月1日から民間へ使用貸借

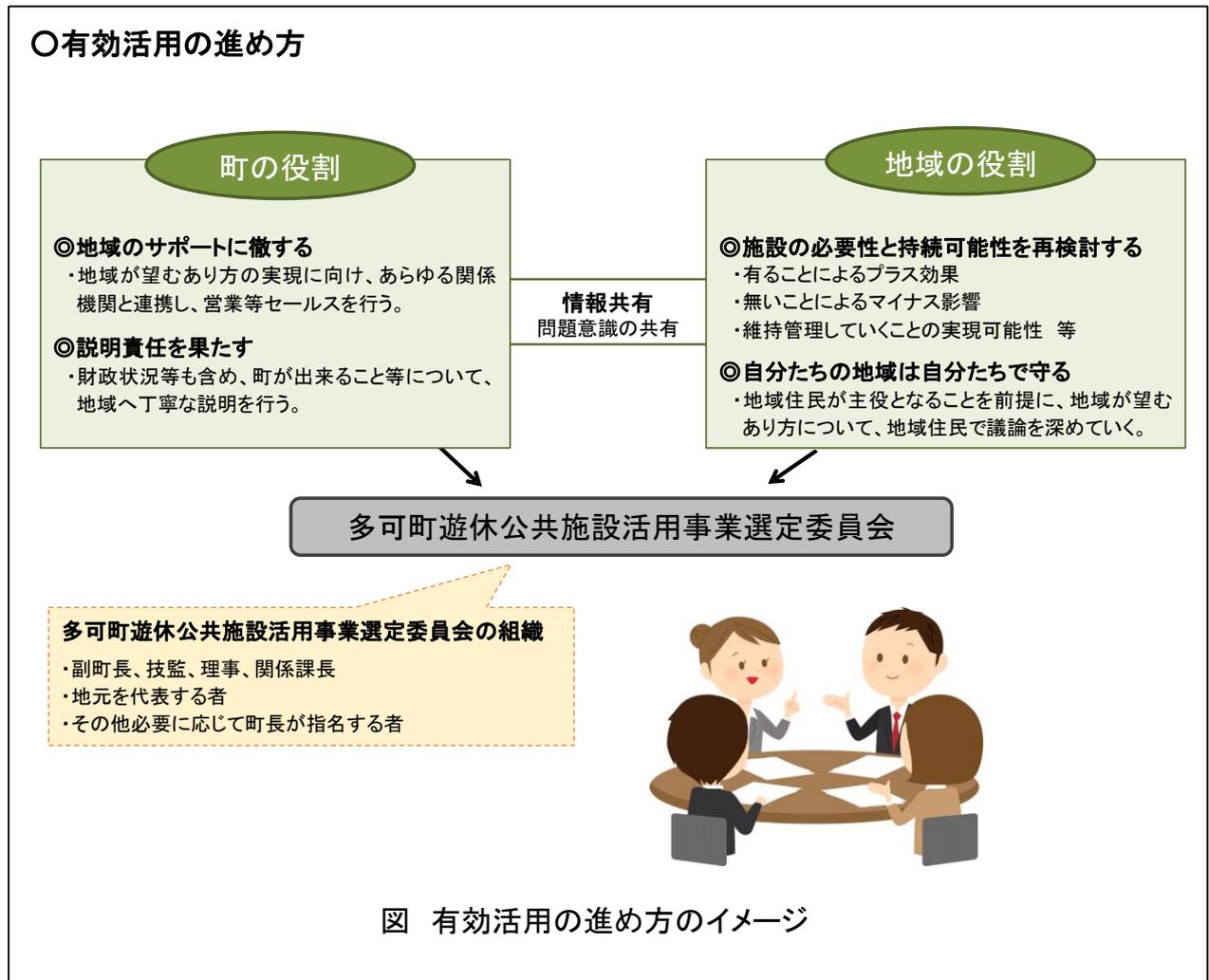
※第2段階評価結果

- （第I期は維持補修、更新しつつ現状維持）
- △（譲渡等検討、手放す方向で調整）
- ▲（現状維持するが修繕しない）
- ×（廃止、取り壊し）

第4章 有効活用について

■有効活用の方針

行政サービスを終了した施設については、積極的に有効活用を図っていきます。有効活用については、『多可町遊休公共施設活用事業選定委員会』で進めていきますが、その前段階から、地域の皆さんと協力・連携を深めていく仕組みを構築します。



○活用を検討する流れ

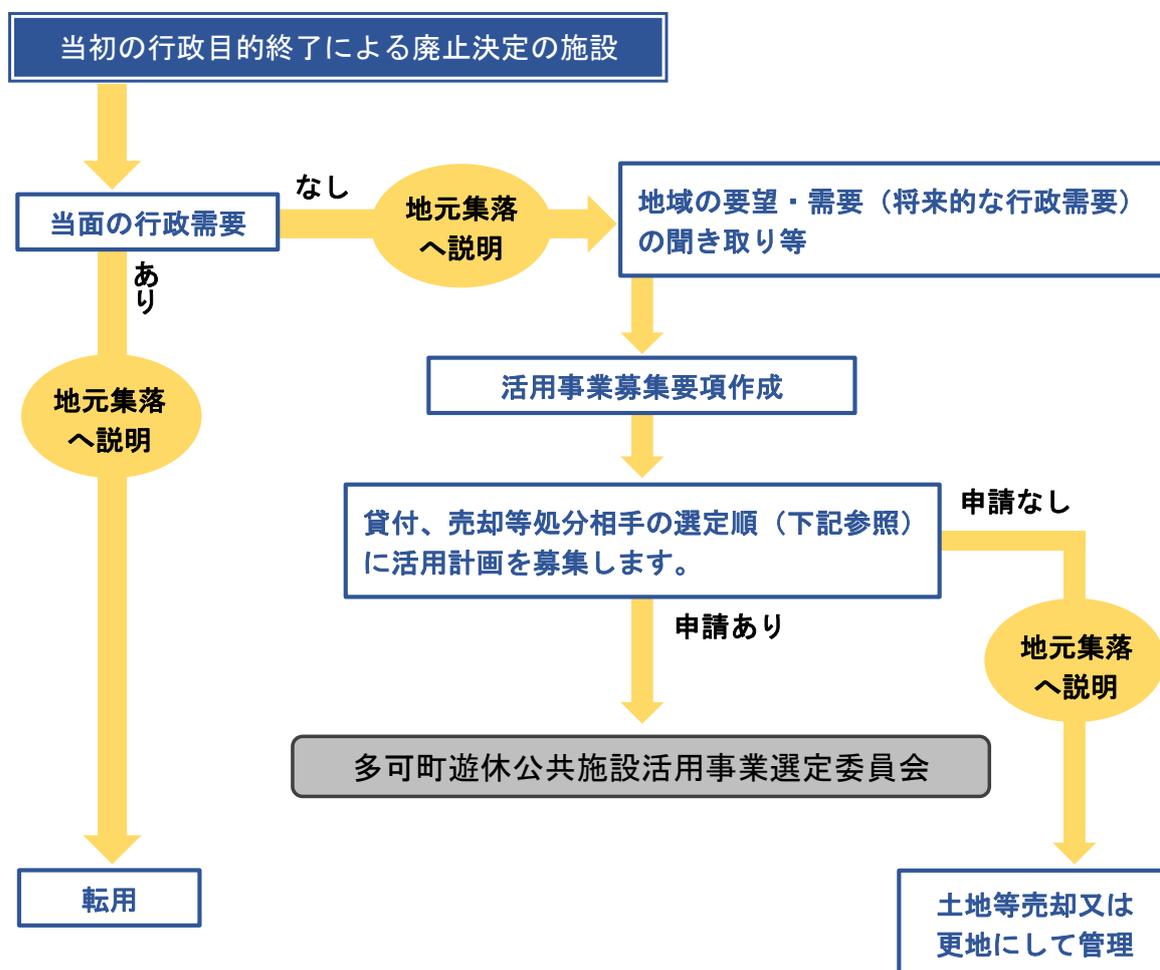


図 活用を検討する流れのイメージ

○貸付、売却等処分相手の選定順

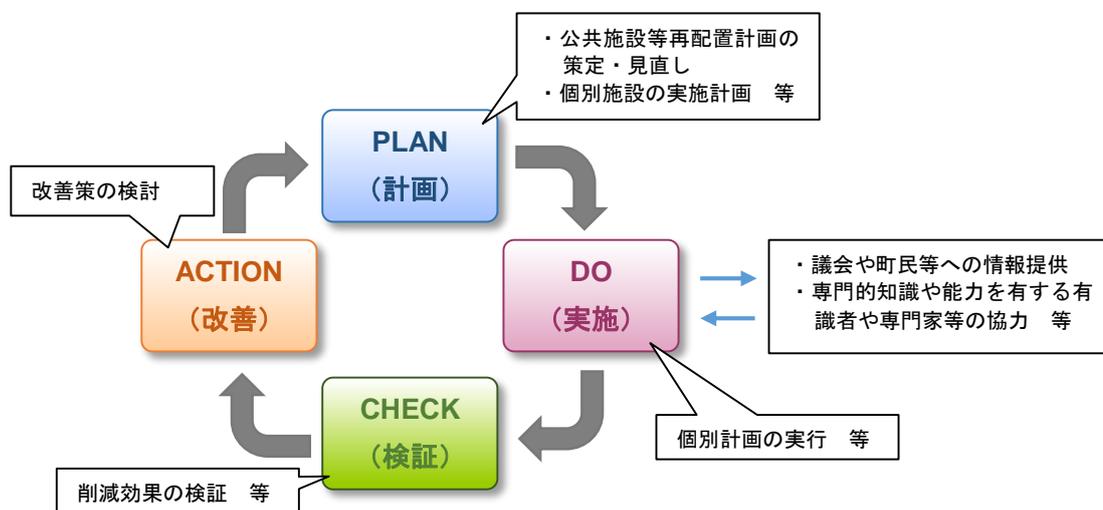
- ①行政目的での活用計画がない場合、施設・建物が所在する集落に打診します。
(事業主体は、地元集落)
- ②集落からの提案がない場合は、全町を対象に活用計画の提案を募集します。
(事業主体は、町内の任意活動団体、NPO 法人、町内業者等)
- ③町内で活用希望がない場合は、全国を対象に活用計画を募集します。

第5章 フォローアップの実施方針

■PDCA サイクルによる進捗管理

公共施設等再配置計画に基づき、町が所有する施設についてはこれまで以上に計画的な管理運営を図るとともに、譲渡等対象施設については、確実に推進していくため、事業の実施、進捗状況の確認・効果検証、取組内容の改善・見直しの各プロセスにおいてPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）を活用し、次のとおり進めていきます。

なお、今後の社会経済情勢の変化等により、内容の変更等が必要となる場合は、計画期間内であっても、内容の見直しを行うものとします。



- ① 町が所有する施設・・・公共施設点検シートにより管理していきます。
- ② 譲渡等対象施設・・・定期的に進捗状況を把握して推進していきます。

参考資料

1) 検討体制

多可町公共施設等再配置計画については、以下の体制・役割において、検討・審議を行いました。

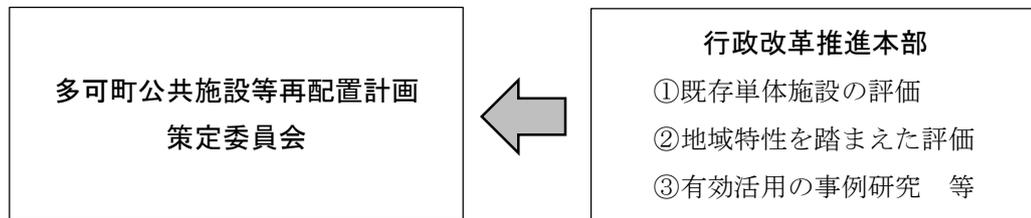


図 公共施設等再配置計画の検討体制

2) 多可町公共施設等再配置計画策定委員会（平成 28 年度～平成 29 年度）

■委員

所 属		氏 名	備 考
(学識経験) 兵庫大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 講師		中本 淳	委員長
区長会	平成 28 年度	森野 学也	副委員長
	平成 29 年度	藤本 努	副委員長
商工会		清水 賢彦	
農業委員会		藤井 徳孝	
北はりま森林組合		中道 忠憲	
教育委員会		熊田 正博	
社会福祉協議会		南畝 一郎	
婦人会		藤浦 重美	
PTA 協議会	平成 28 年度	安平 龍輔	
	平成 29 年度	大西 義和	

(敬称略)

■事務局

所 属		氏 名
総務課 課長	平成 28 年度	池田 重喜
	平成 29 年度	小西 小由美
総務課 副課長		川上 誠司
総務課 課長補佐		新田 順子
総務課 主査	平成 28 年度	橋本 行広
	平成 29 年度	伊藤 竜太

3) 策定の経緯

表 各種会議の開催時期と主な議題

年度	回数	会議種別	開催時期	主な議題
平成28年度	第1回	行政改革推進本部	平成28年8月18日	・公共施設等再配置計画策定（H28-H29の2ヵ年）について
	第1回	策定委員会	平成28年10月4日	・公共施設等総合管理計画の策定について
	ワークショップ	行政改革推進本部	平成28年10月12日 10月18日 11月9日	・第1段階評価について
	第2回	行政改革推進本部	平成28年11月15日	・公共施設配置マップの作成について ・施設単体評価について
	第3回	行政改革推進本部	平成28年12月22日	・公共施設配置マップについて ・施設の単体評価について ・単体評価における問題点等について ・削減目標と達成時期の設定について
	第4回	行政改革推進本部	平成29年2月6日	・削減目標と達成時期について ・現段階での再考事項について ・普通財産・倉庫・一時利用・行政財産（使用貸借・賃貸借）一覧の削減可能性面積について ・E・Dエリアの施設について ・第2段階評価（地域性評価等）における必要視点について
	第2回	策定委員会	平成29年2月24日	・公共施設配置一覧（マップ）について ・公共施設単体評価結果（マトリックス評価）について ・公共施設単体評価について ・公共施設等における削減目標と達成時期について
	第3回	策定委員会	平成29年3月29日	・第2段階評価（地域性等評価）の視点について
平成29年度	第1回	行政改革推進本部	平成29年6月28日	・公共施設等再配置計画策定について
	ワークショップ	行政改革推進本部	平成29年7月5日 7月10日 7月11日	・第2段階評価について ・普通財産・倉庫・行政財産（使用貸借）について
	第1回	策定委員会	平成29年8月24日	・公共施設等再配置計画策定について
	第2回	行政改革推進本部	平成29年9月25日	・第2段階評価（案）について ・公共施設等の有効活用の視点（視察を含む）について
	第2回	策定委員会	平成29年9月27日	・第2段階評価（案）について ・公共施設等の有効活用の視点（視察を含む）について
	視察	行政改革推進本部 ・策定委員会	平成29年10月12日	・公共施設等再配置計画先進地視察
	第3回	策定委員会	平成29年12月22日	・公共施設の有効活用の視点について ・住民合意形成について
	第4回	策定委員会	平成30年2月14日	・公共施設等再配置計画（案）パブリックコメントについて ・公共施設等再配置計画（案）について ・進捗管理シート（案）について

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅰ期）
2018年度～2025年度

発行年月：2018年3月

編集・発行：多可町総務課

TEL：0795-32-2380（代表） FAX：0795-32-2349
